

森から世界を変えるREDD+プラットフォーム

事務局報告

2017年12月19日

1. 2017年度の活動概要（1）

加盟団体数	84団体 → 89団体 *新規加盟団体は以下参照 (オブザーバー 6団体)
公開イベント回数	8回(詳細は次項参照)
延べ参加人数	約426人

*国際耕種株式会社、エコメッセちば実行委員会、インマルサット、一般財団法人
日本気象協会、個人加盟1名

参考:現在プラットフォームFBのイイネ数は3400超え。(昨年より約400増)

2017年度活動概要（2）

2017年度開催イベント

開催日	タイトル
6月22日	ナレッジセミナー「REDD+関連の国際動向について」
6月3日	ソーシャルビジネスカンファレンスin東京
6月10日	ソーシャルビジネスカンファレンスin関西
7月1日	ソーシャルビジネスアワードワークショップin東京
7月8日	ソーシャルビジネスアワードワークショップin神戸
7月12日	ナレッジセミナー「REDD+と市場メカニズム等に関する勉強会」
8月31日	ナレッジセミナー「緑の気候基金(GCF)の取組みの進捗状況」
10月31日	ナレッジセミナー「速報:緑の気候基金(GCF)のREDDプラス成果支払いにかかる実施ルール」
12月19日(予定)	プラットフォーム総会イベント「COP23報告及びGCFの動向について(仮)」
2月7日(予定)	平成29年度公開セミナー「REDDプラス展開の鍵は何か? —現場活動から見えてきた、REDDプラスの実践手法—」* 主催:森林総合研究所主催、共催:プラットフォーム他

2017年度活動概要（3）

COP23(ドイツ・ボン) サイドイベント

開催日	タイトル
11月11日	「泥炭地におけるリアルタイム水位モニタリング:インドネシアにおける試み」 (ジャパンパビリオン)
11月11日	「REDD+における準国アプローチ戦略とその可能性」(ジャパンパビリオン)
11月13日	「熱帯のマングローブ林:気候変動の緩和と適応に対する潜在力の発揮」 (Bonn Zone Meeting Room 4) *ITTO/FFPRI共催
11月16日	「民間セクターとの協働によるREDDプラスの推進」(ジャパンパビリオン)

理解促進に向けた取り組み(事務局担当分)

加盟団体及び加盟団体拡大に向けたパンフレット作成(改訂中)

WEBページによる活動紹介(分科会・加盟団体・ユース企画)

1) REDD+の認知度がまだ低い

2) 民間企業との連携強化に改善の余地あり

- ✓ 民間企業がどのようにREDD+に参画できるのかという道筋が現状においては明確ではない。そのため、民間企業にとって、具体的な事業形成等のビジネスプランの検討が難しい。
- ✓ REDD+を取り巻く環境・国際動向は流動的(GCF等特に資金に係る部分)で、情報収集と提供を積極的に行うニーズは高い。
- ✓ REDD+は国内外の政策に左右される要素が大きく、息の長い取り組みが必要。

1) REDD+の認知度向上にむけ引き続き尽力

- ✓ 参加者のレベル(入門編・実践編等)やニーズに合わせたセミナー・情報発信の実施
- ✓ 森林分野に限定されない環境保全系団体や国際協力NGO等との連携による認知度向上活動

2) 民間企業との連携強化

- ✓ 民間企業のREDD+やGCF参画に関し、具体的なベネフィットや案件形成への道筋が見えるような情報提供(例:GCFプロポーザルの作成や、承認済みREDD+GCF案件の教訓の整理や分析等)
- ✓ REDD+のクレジットに加え、森林ビジネスや森林資源管理、CSR、適応策との連携など、民間企業が期待を寄せている幅広い分野や活動に焦点を当てた情報提供

3) 各分科会間の連携

- ✓ 協働でのイベント開催も検討

1. 個人の加盟について

（現行）

●その他学生・研究者等については、「ユースサポーター」と位置づけ、オブザーバー団体と同様の参加範囲とする（各分科会がオープンで実施するイベント、勉強会、広報活動等への参加が可能）。

（改定案）

●その他学生・研究者等については、「サポーター」と位置づけ、オブザーバー団体と同様の参加範囲とする（各分科会がオープンで実施するイベント、勉強会、広報活動等への参加が可能）。尚、「サポーター」には「ユースサポーター」も含む。

2. 実行委員会について

（現行）

●実行委員会の役割の一つとして、REDD+に係る最新情報の共有、意見交換の場としての活用を追加し、関係省庁に対して実行委員会へ参加（オブザーバー参加含む）いただく（調整中）。

（改定案）

●実行委員会の役割の一つとして、REDD+に係る最新情報の共有、意見交換の場としても活用を図る。また、開催にあたり、関係省庁に対して実行委員会への参加（オブザーバー参加含む）を呼びかける。

2018年度もREDD+プラットフォームを
よろしくお願いいたします。



森から世界を変える
REDD+